

郵便のはじまり

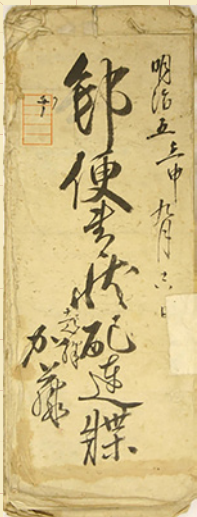
春季收藏品展



起郵便局看板



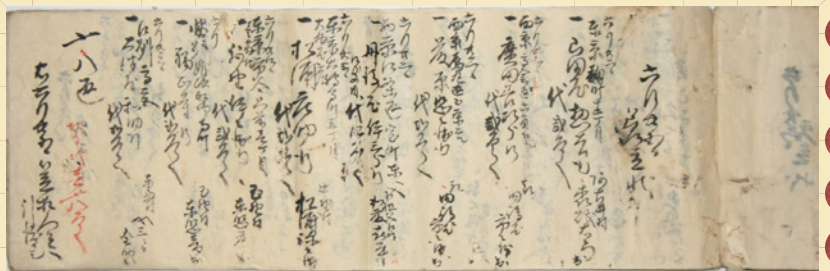
集配巡路明細圖



郵便書状配達牒



昭和の起郵便局

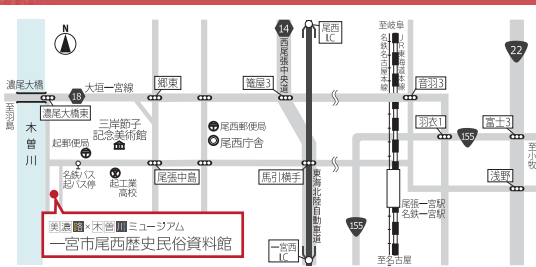


郵便書状配達牒

令和3年 5月1日(土) ~ 6月6日(日)



- 開館時間 午前9時~午後5時 (入館は4時30分まで)
- 休館日 月曜日 (ただし5月3日は開館)、5月6日
- 展示説明会 5月1日(土) 13時30分より (1時間程度)



アクセス
JR 東海道本線「尾張一宮」
または、名鉄名古屋本線
「名鉄一宮」下車、一宮駅
西ロバスターミナル2番
のりばから名鉄バス「起」
行きて約20分「起」下車
徒歩5分

体調のすぐれない場合や発熱、風邪症状のある場合は、来館をお控えください。
来館時はマスクの着用、手指の消毒をお願いします。
今後の状況次第で会期などが変更することもあります。
最新情報については WEB サイトでご確認いただくか、お電話にてお問い合わせください。

美濃 路 × 木曾 川 ミュージアム
一宮市尾西歴史民俗資料館
一宮市起字下町 211 番地 TEL 0586-62-9711



現在、私たちが日常的に利用する郵便は、今から 150 年前の明治 4 年（1871）に導入されました。郵便制度は、江戸時代の宿駅制度や飛脚を活かしたもので、短期間で日本全国に施行されました。

東海道の郵便制度が導入された翌年、美濃路の宿駅である起宿にも郵便取扱所（郵便局）が設けられました。起宿では、江戸時代に問屋場と本陣を務めた加藤家が郵便取扱所となりました。本展覧会では、起宿に残された郵便資料から明治時代の郵便の特徴を紹介します。

郵便制度と起郵便局の歴史

| | |
|-----------------|------------------------|
| 明治 4年（1871） 3月 | 東海道62駅に郵便取扱所を設置 |
| 明治 5年（1872） 1月 | 旧問屋（本陣）加藤家を起郵便取扱所に定める |
| 8月 | 全国の伝馬所廃止（宿駅制度の解体） |
| 明治 8年（1875） 1月 | 郵便取扱所を郵便局と改称 |
| 6月 | 起郵便取扱所より起郵便局となる |
| 明治14年（1881） 1月 | 起郵便局で貯金事務を開始 |
| 明治18年（1885） 12月 | 逓信省設置 |
| 明治20年（1887） 2月 | 逓信省の徽章（記章）を〒と定める |
| 明治23年（1890） 12月 | 起郵便局で内国為替事務を開始 |
| 明治25年（1892） 7月 | 起郵便局で外国為替事務を開始 |
| 明治33年（1900） 3月 | 郵便法の公布 |
| 明治42年（1909） 4月 | 起郵便局が起町の渡辺家に移転（局長渡辺音蔵） |
| 大正 9年（1920） 3月 | 起郵便局が坪内家に移転（局長坪内源三郎） |
| 昭和18年（1943） 11月 | 逓信省と鉄道省を統合し運輸通信省設置 |
| 昭和19年（1944） 4月 | 起町の坪内源逸が局長に就任 |
| 昭和21年（1946） 7月 | 逓信省再設置 |
| 昭和22年（1947） 12月 | 新郵便法の公布 |
| 昭和24年（1949） 6月 | 郵政省設置 |
| 昭和30年（1955） 8月 | 起郵便局から尾西郵便局と改称 |
| 昭和38年（1963） 11月 | 尾西郵便局が現在地（尾西庁舎北側）に移転 |

